

第1回 4科合同生徒研究発表会

10月12日

今年度より「第1回4科合同生徒研究発表会」が始まり、各科より選ばれた合計8本の研究が校内で発表されました。お互いの科の発表を聞く事により、新しい発見と今後の研究に対する意欲も向上することが出来ました。



生徒の感想

★それぞれの科によって研究内容のベクトルが違い、そこからどのように研究し、考察するのも変わっていたのが面白かった。★これまで4科での研究発表がなかったので、この機会に各科でどのようなことをしているのかが分かって良かった。★他の科と協力して探究を進めれば、より良い結果が出る可能性もあると思った。★科によって、疑問に思う観点が違っておもしろかった。

発表タイトル

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1、「デザイン研究」 | インテリア科 |
| 2、「すんき」 | 普通科 |
| 3、「摩擦発光の発光強度」 | 理数科 |
| 4、「青峰里山プロジェクト Part3」 | 森林環境科 |
| 5、「日義の百年以上続く伝統を残したい！」 | インテリア科 |
| 6、「木曾地域における野生動物の忌避植物」 | 普通科 |
| 7、「ユキノシタの葉の研究」 | 理数科 |
| 8、「野生動物の調査」 | 森林環境科 |

未来の学校

森林環境科・インテリア科

01 哲学対話

未来の学校スタートのテーマは「問い」

自分への「問い」を深め、未来を考える力を身に着けるため、未来の学校では先端の学び「哲学対話」を実施しています。長野県立大学グローバルマネジメント学部馬場智一教授をお招きし、1年生4科合同で哲学対話を実施しました。

今年はグループで取り組む「質問ゲーム」、「対話型鑑賞」などのワークショップをグループ内で行い、その後「問い」を出し合いました。

本校では各科「探究」のカリキュラムがあり今後の自己探究につながる学びの時間になりました。

02 地域産業人に学ぶ

活躍する「13人の産業人との座談会」

木曾郡内で活躍している企業人や作家など13人をお招きし、座談会を実施しました。奈良井宿カフェオーナー、林業家、芸家、モバイルハウスビルダーの方々などのそれぞれの事業内容や、仕事に込める思いなどを直に伺うことができました。

03 マイプロジェクトに挑戦

木曾を盛り上げる「モノ・コトデザイン」

自分の好き、興味関心を社会課題を掛け合わせて一人一人が主役となるマイプロジェクトを企画します。「空き家を使って保護動物図書館カフェ」「黒川地区に人が来てくれる公園を造る」「海ゴミを集めてサッカーボール、ゴールを作る」「木曾から発信!!、自転車文化を広げよう」などのプロジェクトを進めていく為に今年は地域の方々に自分の企画を聞いてもらい更にブラシアップする予定です。

このプロジェクトは年明け、木曾町文化交流センターにてポスターセッション形式で発表会を行う予定です。



スクールマガジン4号を発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきます。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木曾青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <https://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>

「交流会の様子」

6月9日（金）アメリカハワイ州の高校生（2名）、大学生（1名）、教員（1名）が木曾青峰高等学校を訪れ、生徒たちと交流しました。



ハワイ州の生徒が事前に準備してくれた自己紹介スクリーンで映像を使ってスピーチしてくれました。時々、日本語も交えて、自分の家族・趣味・生徒会の活動などを紹介。「韓国のアイドルが好き！」と紹介すると「私も！」と嬉しそうにしている生徒もいました。



ハワイ州の生徒たちの自己紹介・パフォーマンスの後、4～5人のグループに1人ずつ入ってもらい交流しました。恥ずかしそうにしながらも、本校の生徒も各自で英語で自己紹介をしました。



ハワイのビーチの夕焼けをバックにして、フラダンスの大会に出場した経験のある生徒さんが踊ってくれました。そのフラダンスに引き込まれる生徒たちでした。圧巻の踊りでした。

星の教室 2023

8月2日・3日

理数科

最先端そして世界唯一の天文台で「星の教室 2023」

テーマは「宇宙の年齢」



観測所内の見学



テーマ解析・討論



東京大学本館観測所

4年ぶりに宿泊ありの星の教室が行われました。宇宙の年齢をテーマに、班で協力して、データ収集・解析・討論・プレゼンテーションを行いました。討論が深夜まで続いた班も…。この教室を通して、最後の答えが合えばよいわけではなく、答えに行きつくまでの過程が大切

あることを学びました。夜は曇りぎみでしたが、観測会の時はちょうど雲の陰りがなく、煌々と光る星を観測できました。

生徒の感想

★課された課題へのアプローチの方法を掴むことは難しいことだったけど班と協力して少しずつ答えに近づく事ができた。★考えたこともない銀河までの距離など、求めるのは大変だったけど求めることが出来たので本当にあるんだなって実感できた。★シュミット望遠鏡があんなに大きくて重たいのは初めて知ったし、世界で3番目に大きいシュミット望遠鏡立ということも初めて知って驚きました。

定時制の活動

8月～11月



スポーツ大会

◆9月に「スポーツ大会」が開催され、今回はフットサルを楽しみました。学年・男女一緒にプレイして、見事なゴールが沢山あり盛り上がりました。



遠足・芸術鑑賞

◆10月の「遠足・芸術鑑賞」では松本市美術館を訪れて、草間彌生のエネルギーに満ちた作品に圧倒されてきました。また、松本市出身の映画監督 山崎貴の企画展も同時に見ることができ、山崎監督の映画の世界を垣間見えてきました。

◆生徒会活動では「立会演説会」と「選挙」が行われ新生徒会長と新役員が決まりました。4年生からバトンを引き継ぎ、生徒総会も開催され新体制の生徒会がスタートしています。